

<新規就農者の確保又は認定農業者の育成に取り組む事例>

○資源循環型農業の推進と担い手の育成

1. 集落協定の概要

| | | | | |
|------------------|----------------------------------|--------------------|----------------------|-----------|
| 市町村・協定名 | みやこぐんたらまそん たらま 沖縄県宮古郡多良間村・多良間 | | | |
| 協定面積 265.4 ha | 田 | 畑 (76.5%) さとうきび | 草地 (23.5%) ローズグラス | 採草放牧地 |
| 交付金額 898万円 | 個人配分 | | | 0 % |
| | 共同取組活動 (100%) | リーダー育成 | | 2 % |
| | | 農業生産活動等の体制整備に向けた活動 | | 33 % |
| | | 水路・農道の維持管理費 | | 22 % |
| | | 農用地の維持・管理活動 | | 6 % |
| | その他 | | 37 % | |
| 協定参加者 | 農業者 258人、農業生産法人2 | | | 開始：平成17年度 |

2. 取組に至る経緯

本村は宮古島と石垣島の間位置し、さとうきび作と肉用牛繁殖経営を柱とした農業が盛んな島である。離島という厳しい自然条件の下、農業生産活動維持のため各区長がリーダーとなり、平成17年度に集落協定を締結した。

集落の高齢化が進み後継者が不足している現状において、今後、耕作放棄地の増加が懸念されている。集落では、持続的な農業生産活動の体制整備を図るため、継続して本制度による集落協定活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

- ・資源循環型農業を推進して、化学肥料の低減化を図り、村堆肥センターと連携して堆肥を活用したさとうきび作とかぼちゃの増産に取り組んでいる。
- ・高齢化や後継者不足の解消のため、新規就農者の確保と認定農業者の育成に取り組み、担い手へのさとうきびの収穫作業・病虫害防除、草地の刈取・梱包作業等の草地管理作業の受委託に取り組んでいく。
- ・地場産業として、黒豆（ささげ）の生産の増と農産加工品に取り組み、農業経営の安定化を図る。



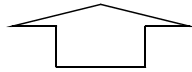
【区長（リーダー）による運営委員会】



【堆肥の散布】

[集落の将来像]

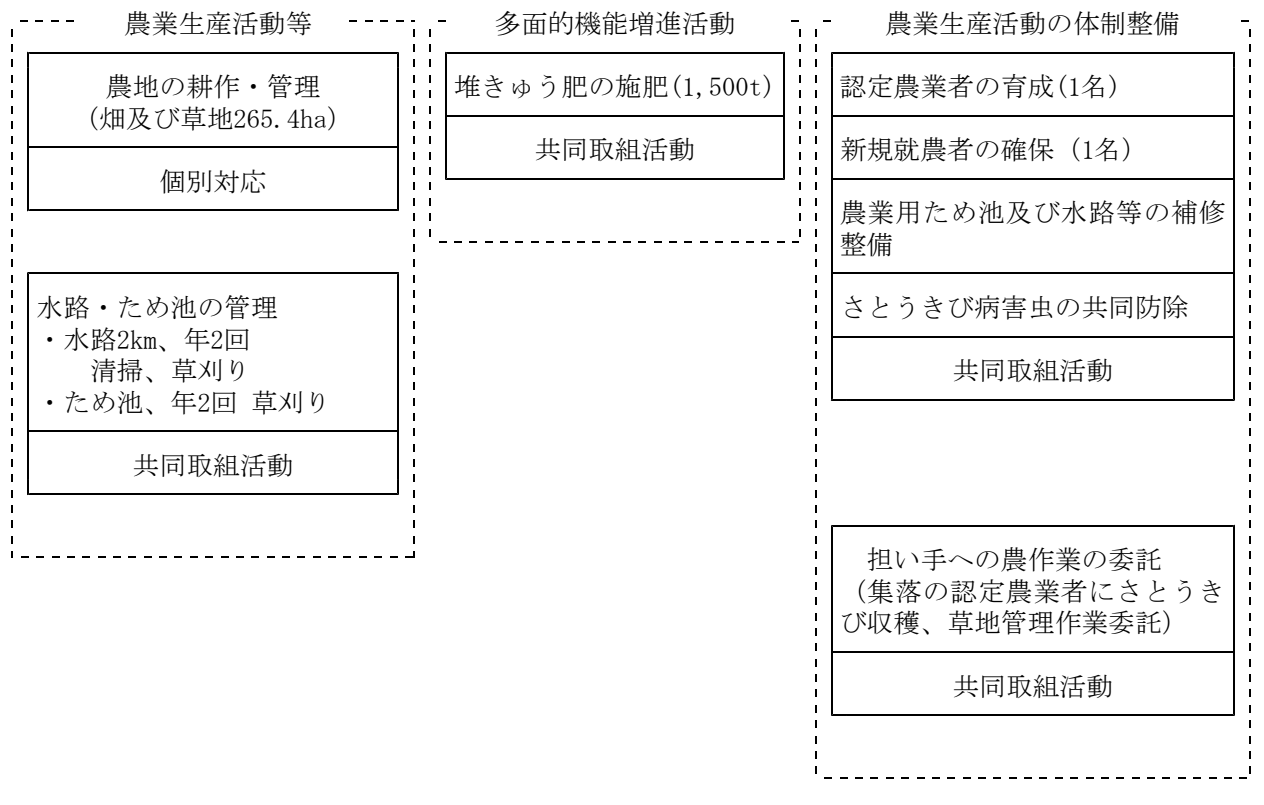
○地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

○新規就農者の確保及び認定農業者の育成

[活 動 内 容]



集落外との連携

○台風後や豊年祭八月踊り、多良間村一周マラソン大会前に住民総出での集落内の清掃活動

4. 今後の課題等

- ・集落内での話し合いの場が増えて、共同で水路・農道・ため池の維持管理活動が行えるようになった。
- ・農家の高齢化が進み後継者が不足していることから、新規就農者の確保と認定農業者の育成を図り、担い手への農作業の受委託を推進する。

[第2期対策の主な成果]

- 堆肥を活用した地力増進でさとうきびかぼちゃ生産量の増加
さとうきび(目標: 22,000 t、実績: 26,000 t) かぼちゃ(目標: 45 t、実績: 58 t)
- 認定農業者の育成(目標: 30人、実績: 45人)
- 黒豆(ささげ)の生産振興で生産量の増(目標: 5ha、実績: 6ha)